

Library Information

図書室からのお知らせ

■0歳児からのおはなし会について

図書室では、毎月第2木曜日に、「0歳児からのおはなし会」をおこなっています。絵本の読み聞かせのほか、手袋人形、わらべうたなど、楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、またおじいちゃん、おばあちゃんも、子どもたちとお気軽にご参加ください。

■日時 8月8日(木)

午前10時30分～

■会場 図書室おはなしのへや

東野圭吾の最新ミステリーは「家族」の物語
東野 圭吾著 / 『希望の糸』

講談社

小説

閑静な住宅街で小さな喫茶店を営む女性が殺された。捜査線上に浮上した常連客だったひとりの男性。災害で2人の子どもの失った彼は、深い悩みを抱えていた。容疑者たちの複雑な運命に、若き刑事が挑む。「どうしたら、本当の家族になれるのだろうか」東野圭吾が描く「家族」の物語に引き込まれてしまう1冊です。

大人気シリーズを最新刊11作までそろえました
廣嶋 玲子作 / 『ふしぎ駄菓子屋銭天堂11』

偕成社

児童書

幸運な人だけがたどりつけるふしぎな駄菓子屋。そこにはたくさんのふしぎな駄菓子が並び、女主人・紅子がすすめる駄菓子は、どれもその人にぴったりのもの。でも、食べ方や使い方をまちがえると…。はたしてその駄菓子は幸運を呼ぶのか。はたまた不幸をまねくのか。大人気シリーズを最新刊11作までそろえました。

大災害から命を守るために伝えたい50のこと
三平 洵監修 / 『シニアのための防災手帖』

産業編集センター

一般書

大規模災害での犠牲者の大半は60歳以上に集中しています。足腰や体力に不安を抱えるシニア層が安全に避難し、命を守るためには日頃の備えが必要です。被災地に足しげく通い、高齢者の被災現状を知り尽くしたプロが、日常の備えから災害時に役立つ知識をわかりやすいイラストとともに解説した、おすすめの1冊です。

フランス生まれの美しい手作りせっけん
みみず ねえ著 / 『ほんものみたいなジュエルソープ』

日本文芸社

教養娯楽

「ジュエルソープ」はフランスで生まれ、ヨーロッパを中心に人気を集めています。まるで本物の宝石のように美しい見た目はSNSでも話題に。材料は手に入りやすく、短い時間で製作でき、とくに握ってまとめる製法はとてもシンプルなので、子どもと一緒に楽しみながら作ることができます。おしゃれな贈り物としてもおすすめです。

●図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

札 幌の友人が「僕の出身地は、医師の関寛斎という人が命を賭して拓いた北海道の陸別町だ」というので、私は「胡蝶の夢」(司馬良太郎著)の登場人物・関寛斎を思い出しました。

寛斎は幕末から明治にかけて活躍した医師で、北海道開拓に関心がありました。徳島で開業していましたが、家屋や土地をすべて売り払い、未開の寒冷地に入植します。寛斎が七十三歳の時のことです。北海道で

今月の案内人



内田 乃武子さん
(岩下一区)

Read This Story!

～ My Favorite Story ～

私のおすすめ図書

『胡蝶の夢 (四)』(司馬良太郎 著)

徳川政権の崩壊を、権力者ではなく、蘭学という時代を先取りした学問を学んだ若者たちの目を通して重層的に映し出した歴史長編。

の一年目は、連れてきた馬が熊に襲われるなどの被害に遭います。その後も大雪や疫病などの被害が続き、この土地を去る人が出る中も寛斎は踏みとどまり、開拓のかたわらアイヌや放免囚人などの救済を行います。

寛斎は、貧しい患者を無料で診るなど地域の人々のために尽力する中、八十三歳の生涯を自ら切り拓いた陸別の地で閉じました。

今の美しい北海道からは想像できない闘いがあったことに驚かされます。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介しますませんか？

町生涯学習センター図書室

☎096-234-2447(内線331)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ 町民大学開講のお知らせ

講演会を開催します

●開催日時

8月25日（日）
午前10時～正午

●会場

町生涯学習センター・ホール

●演題

皇国地誌（郡村誌）の紹介
～明治の歴史をふりかえる～

●講師

元甲佐町史編集委員長
佐藤 征子 さん（仁田子区）

※ 6月30日（日）に大雨のため
中止した講演会を改めて開催し
ます。「新甲佐町史歴史研修会」
も兼ねての開催です。

●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447（内線321）

町公民館出前講座 介護予防のための運動

7月5日（金）龍野ふれあいセンターで、上早川三区と四区の区民を対象に「介護予防のための運動」についての出前講座を開催しました。

講師は、谷田病院の理学



▲介護予防のための運動を体験する参加者の皆さん

療法師の原田朋さんと友田晃彦さん。参加者は21人。講師から、リハビリ効果が大きく、効率的で簡単な

「ながら運動」が紹介されました。

「ながら運動」は、片脚立ち、起立・スクワット、足指じゃんけん運動、振り返り運動、かかと落とし運動などで、ご家庭でも椅子や机につかまって手軽にできる運動方法です。参加者は、講師の指導を受けながら実際に体験しました。

町公民館自主講座

熱中症の予防について

7月9日（月）龍野ふれあいセンターで、上早川一区と二区の区民を対象に「熱中症の予防」についての出前講座を開催しました。町総合保健福祉センターの清田真理保健師を講師に迎え、熱中症やその予防方法について学習しました。

参加者は27人。清田保健師は熱中症予防について「めまい・汗が出る・筋肉痛・頭が痛い・体がだるいといった症状の場合、涼しい所で体を冷やし水分補給をすることが大事です。意識がない・けいれんするなどの重症の場合は、すぐ救急車を呼ぶようにしましょう」と呼び掛けました。参加者は、水分の取り方や熱中症の予防方法を学びました。



▲熱中症予防について説明を受ける参加者の皆さん

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

■甲佐町学校人権教育部会「新規採用者及び転入教職員研修会」開催

6月20日（木）甲佐町町民センターで、甲佐町学校人権教育部会「新規採用者及び転入教職員研修会」が開催されました。

はじめに、町民センターの中林健次所長が「町民センターの取組について」、甲佐中学校人権教育主任の嘉古田剣吾教諭が「甲佐町における人権教育の現状と課題について」と題し、講話を行いました。

次に「私と同和問題とのかかわり、人権教育を進めるにあたっての悩み

など」について、グループ討議を行いました。参加された教職員から多くの意見も出て、良い勉強の場になりました。

研修後のアンケートでは「人権教育を学んでいくと、子どもの見方が変わるという話がありました。何か起こった時、その背景を肯定的に捉えられるようになると、子どもに対する思いも変わっていくと思います」といった意見や「同和問題をはじめ、あらゆる差別をなくしていくために、いかに自分ごととして捉えることができるように人権意識を高めていきたい」などの感想がありま

した。

今回の研修会は教員の人権感覚を磨く機会となり、本町の人権教育にとって有意義なものとなりました。



▲講話を行う嘉古田教諭

●人権に関するお問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447（内線324）